

とかげの作り方

(ロシアの紙工芸サイトの作り方を参考にしました)



関口 千鶴

材料: サイトで見たのは、紙を細い筒状の棒に丸めたもののようにでしたが、ここでは全て青い紙バンドを3列に裂いたものを使用しました。手足の部分は2列でも良いと思います。

とかげの体長の2倍×2本、手足の長さの2倍×4本と編み材適宜。目(紙を丸めても、ビーズでも)2個。ボンド。

- ① 体の紙バンドを半分に折り、8の字に数段編む。2つ作る。



二つ重ねて一緒に編む。2本の材を交互に中央で折り返す編み方で体部分を編む(とかげらしくするため、まっすぐではなく、適当に曲げながら編むと良い)。



- ② 尻尾の部分は細くするため中央で折り返さずに互い違いに編み、さらに編み材を1本切り、芯材も先を尖らせるように細くし、編み材にボンドをつけぐるぐる巻いてとめる。



- ③ 手2本、脚2本を本体に差し込む。それぞれ、編み材も1本ずつ差し込み8の字で編む。関節は片側を余分に巻き曲げる。指先は3本に分かれるようにボンドでとめる。



目を付けて完成。写真下の胴体は裏面です。

